



# 大学教育の成果を何で測るべきか

～日米の最新動向からアウトカム指標を再考する～

日時

2019年 **3** 月 **1** 日 (金) **13:00～17:00**  
(開場12:30)

場所

関西学院大学 大阪梅田キャンパス14F 1405教室

世界の高等教育界において、最重要テーマである「質保証 (Quality Assurance)」の中心として「教育の成果とその測定方法」の議論が続いている。国際的な高等教育の質保証の第一人者であるVictor M.H. Borden氏から米国の現状をお聞きするとともに、日本の高等教育政策における考え方やこれからの方向性、本学を含めた日本の大学の現状を共有し、「学修成果 (Learning Outcomes)」から一步広げて多角的な視点で教育の成果を捉えるべく、具体的な指標や測定方法を含めて議論する。

※本プログラムは関西学院大学「グローバル・アカデミック・ポート」構想（「文部科学省スーパーグローバル大学創成支援」採択）の一環として実施します。

## パネリスト



### Victor M.H. Borden

(Professor of Higher Education, Indiana University Bloomington)

米国インディアナ大学ブルーミントン校教授。高等教育機関における教育プログラムや機関運営のエビデンス・ベースによる評価・改善が専門で、世界各国で150を超える招待講演を行っている。現在カーネギー教育振興財団が作成するカーネギー大学分類 (Carnegie Classification of Institutions of Higher Education) のプロジェクトディレクターも務める。過去にはIRの専門家としてアメリカの4大学に従事し、全米のIR協会であるAssociation for Institutional Research (AIR) の会長も務めた。



### 常盤 豊 国立教育政策研究所所長

1982年東京大学法学部卒業、文部省（現文部科学省）に入省。2004年に初等中等教育局教育課程課長。その後、初等中等教育企画課長、科学技術・学術政策局科学技術・学術総括官、大臣官房審議官（高等教育局担当）、高等教育局私学部長、研究振興局長、高等教育局長、生涯学習政策局長を歴任し、2018年10月より現職



### 江原 昭博 関西学院大学教育学部准教授 評価情報分析室副室長・高等教育推進センター副長

早稲田大学商学部卒業。州立ハワイ大学人文学部卒業。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学。関西学院大学専任講師を経て、現職。世界野球ソフトボール連盟競技委員。公益財団法人大学基準協会大学評価研究委員。

